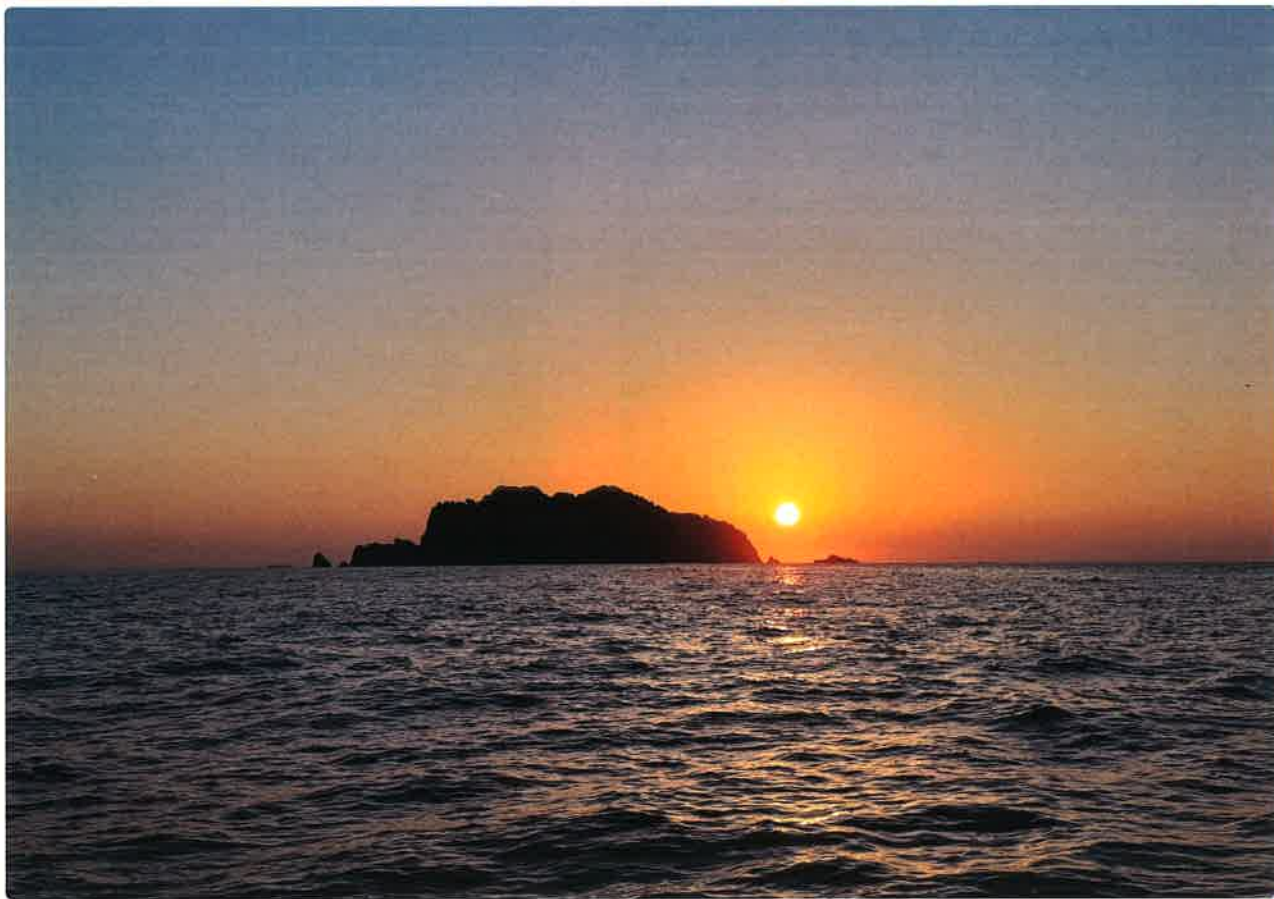


2023.1月発行

第55集

協議会だより



一般社団法人 岩手県訪問看護ステーション協議会 会長 飯嶋 純一



あけましておめでとうございます。

当協議会に対するみなさま方の日頃からのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

昨年は、管理者研修、小児訪問看護研修、精神科訪問看護研修、各地域ブロック研修、臨時で開催した新型コロナウイルス感染予防研修を開催することができました。ハイブリットでの研修開催となりましたが、ご参加とご支援いただき、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症について、今後をどのように対策していくか、重要な局面になってきていると感じています。行政からの連絡についてしっかり情報を共有し、各関係機関と協力しながら連携を図り、在宅でも利用者様が安心して生活を過ごすことができるよう、訪問看護の力を十分に発揮し努めていきたいと考えています。

今後も、各々の訪問看護ステーションで得意とする支援や地域の状況によって違いはありますが、互いが協力し学びながら成長し合えていければと思います。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「訪問看護ステーションに対する新型コロナウイルス感染症対応研修」

【日時】令和4年8月6日(土)

令和4年8月6日講習会開催当日、新型コロナウイルス第7波真っ只中、岩手県においても1000人を超える新規感染者が発生している。新規感染者の大幅増加に伴い、感染者の自宅等で療養する者の訪問看護の必要性が高まっている。今回、岩手医科大学附属病院、感染管理認定看護師、近藤先生にCOVID-19の特徴、及び感染経路、PPEの実技講習をしていただきました。自宅療養者等に対して、訪問看護を担える看護師の育成は必須です。今回の講習で看護師自身の感染対策(PPE)はもちろんのこと、在宅や施設でのゾーニング、感染予防の方法について学ぶことが出来ました。訪問看護師の在宅におけるニーズが今後益々高まってくると感じております。今回の受講により感染対策に自信をもってコロナ療養者の訪問ができるようになったと思います。



【日時】令和4年9月15日(木)

新型コロナウイルス感染症において、感染者の在宅療養が増加しております。また施設でのクラスターが多発し岩手県でも早急な対応が必要とのこと、訪問看護師の重要性が高まり今後予想される第8波の対策のため8月6日に開催した「訪問看護ステーションに対する新型コロナウイルス感染症対応研修」に引き続き今回、岩手県保健福祉部医療政策室、中田様と横澤様にご協力いただき再度9月15日研修会を開催する運びとなりました。平日にも関わらずZoom参加も含め大変多くの方々に参加いただき感染対策の講義、実技も含め大変役立つ講習となりました。複数回の開催により確実なPPE、感染予防を行い日々の訪問に生かせることと思っております。



「訪問看護ステーションにおける新卒看護師の育成」

【日時】令和4年8月27日(土)

8月27日土曜日、ふれあいランド岩手にて、訪問看護ステーション管理者研修会が開催されました。お忙しい中多くの方に参加いただき有難うございました。新卒訪問看護師の育成について、講師の先生からは新卒看護師育成1年目、4年目、新卒1年目、4年目のそれぞれの立場よりお話し頂きました。

これまで「新卒の教育は大変」「スタッフに負担がかかるのでは」等 不安な要素ばかり考えてしまいがちでしたが「みんなで育てる。みんなで育つ。」と 新人と共にステーションが成長できることを知る機会となりました。又、新卒者2人は先輩方に育てられ訪問看護師としての成長を感じ、そして、新卒さん大事に育てて行きたい、これからの成長を見守りたいと思いました。

この研修会で、わがステーションでもチャレンジしてみようか!と思われた管理者さんいらしたと思います。今すぐでなくてもいい、新卒者さんを受け入れる体制が今後増えていくと願います。

訪問看護ステーションやばば 坂本 由美子



「自ステーションに適したBCPを作成するポイント」

【日時】令和4年9月4日(日)

令和4年9月4日(日)岩手県訪問看護ステーション協議会県南ブロック研修会が開催されました。

テーマ1として「自ステーションに適したBCPを作成するポイント」と題してケアプロ株式会社在宅医療事業部事業部長で「訪問看護事業所のBCP」の執筆者でもある金坂宇将氏より90分たっぷりご講義いただきました。訪問看護事業に特化したBCPの作成のポイントを具体的に教えていただきました。それぞれの地域リスクをまず想定し、平時業務の中から発災後でも継続する必要のある「重要業務」を続けられるようにすること。シートを活用し、一目でリスクと対策がわかるようにまとめた事業継続計画サマリーを作成しておくこと。作成して終わりではなく、継続管理が必要で、まず優先度の高いと思うものからまず取り組んでみる大切ということでした。

テーマ2として「令和3年度訪問看護講師人材養成研修会報告」と題して水沢病院訪問看護ステーションきらり所長の菊地浩子氏よりグループワークの進め方と研修内容報告をしていただきました。地域において研修会を開催するときには企画、開催準備、当日運営、評価の順に各ポイントも伝達していただきました。今後の研修会の開催の際に役に立つ内容でした。

今回の県南ブロック研修会は県内全体の参加も募り、現地参加は8名、web参加が30名と関心度の高い研修内容でした。ご参加の皆様ありがとうございました。

岩手県看護協会立東山訪問看護ステーション 鈴木 美和子



「アンガーマネジメントについて ～イライラをマネジメントしてイキイキ働く～」

【日時】令和4年9月4日(日)

2022年9月4日ハイブリッド開催、中央ABブロック研修会「アンガーマネジメントについて～イライラをマネジメントしてイキイキ働く～」研修会に参加して、アンガー(怒り、イライラ)マネジメント(自分自身の感情を制御する)日々の生活や仕事において自身の感情コントロールは必要不可欠であり、一歩間違えれば相手に不快な思いをさせたり怒らせたり良い関係は生まれえないということである。怒りは理想と現実のギャップ、周りとの価値観の違いでもある。衝動のコントロール方法や思考のコントロール方法を学ぶことにより、怒りや後悔することの無いよう怒りをコントロールし、適切な場合には前向きにとらえても良いことである。たかが怒り、されど怒り、上手に制御することにより快適な人間関係を築ける大変学びの多い研修会でした。

訪問看護ステーションらら 上澤 真樹



「多様な性を理解する ～あなたのそばにいる LGBTQ+～」

精神科訪問看護研修会

【日時】令和4年12月3日(土)

岩手県から委託を受け、看護師向けとして精神科訪問看護研修会を開催しました。

講師に、岩手県男女共同参画センターの佐藤卓氏と民間相談員の奥乃雪菜氏を迎え「多様な性を理解する」というテーマでLGBTQ+についてお話をいただきました。

奥乃様は訪問看護ステーション結いの手の利用者様であり、訪問看護を受けているのお話しも具体的にしてくださり、私達訪問看護師が精神科訪問看護を行うにあたりわかりやすい研修でした。

多様な性については現代社会では一般的であり、特に問題視することではありません。

しかしながら周囲の理解が遅れていることや捉え方が間違っていることで、当事者の方々はずごく傷ついたり困っていることが多くあることがわかりました。精神科訪問看護を行う上で私たちはなお一層新しい情報をキャッチして進んで学んでいく必要があることを感じました。

お二人の講師の先生には大変感謝しております。また精神科訪問看護研修会を企画したくさんの皆さんと学びを深めたいと思っています。

内丸病院訪問看護ステーション 鎌田 真紀



『小児訪問介護研修会』報告

【日時】令和4年10月23日(日)

令和4年10月23日(日)「ふれあいランド岩手 研修室」において『小児訪問看護研修会』が開催されました。

ブライトステージ所長 吉田香織様から『小児訪問看護を受け入れるようになるまで』の事例発表があり、岩手医科大学医学部 障がい児者医療学講座 特命教授 亀井淳先生から『訪問看護に期待すること』と題し基調講演を頂きました。講演後、岩手県保健福祉部 障がい保健福祉課 太田眞之介様、岩手県医療的ケア児支援センター 大力聡美様より、岩手県医療的ケア児支援センター(令和4年9月5日開設)について紹介がありました。

受講者からは、医療的ケア児の歴史的背景から現状、関連法規や今後の見通し、小児の受け入れにあたっての準備や、心構えなど知ることができ、学校や放課後デイ等との連携のありかたなど具体的なお話を伺い有意義であった、とのご意見を頂きました。小児訪問看護の必要性は高まっており、今後も実践に役立つ研修会を計画していく予定です。

総合花巻病院訪問看護ステーション 大竹 央子



「訪問介護の多職種連携 ～これまでコロナにどう立ち向かったか～」

【日時】令和5年1月14日(土)

2023年1月14日令和4年度岩手県在宅医療人材育成事業地域住民向け研修「訪問看護の多職種連携」研修会に参加し、研修①高齢者施設における新型コロナウイルスの対応と実際では、コロナ感染発生前の対応から発生時の対応、ゾーニングや標準予防策はもちろん、その中で業務の見直しを素早く行い、利用者さんのケアの低下や病状の悪化なく回復に至った経緯は大変参考になりました。

研修②コロナ禍における地域包括支援センターの役割と現状では、その人らしさの支援、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けた手段であることを踏まえ、地域包括支援センターの現状や役割を詳しく講義頂きました。改めて自分の行っているケアの必要性、家族を含めたケアの大切さを見直す機会となりました。

訪問看護ステーションらら 上澤 真樹



岩手県訪問看護ステーション協議会

県南ブロック市民公開講座

- 日時** 令和5年3月5日(日) 14:30~16:30
場所 一関文化センター
前座講演 平澤 利恵子
「訪問看護による看取りのケア」
基調講演 やまと在宅診療所一関
 副院長 杉山 賢明 先生
「その人らしく生きるための人生会議」(仮)

会場及びZoomのハイブリッド形式

沿岸ブロック地域公開講座

- 日時** 令和5年3月19日(日) 13:30~15:00
場所 宮古市市民交流センター、多目的ホール
基調講演 医療法人豊島医院
 院長 豊島秀浩 先生
「おらがほうの地域でより良く生きる」

会場及びZoomのハイブリッド形式

令和3~4年度新規訪問看護事業所

事業所名	事業所所在地	管理者指名	指定年月日
内丸病院訪問看護ステーション	盛岡市本町通1丁目6番3号本町通桜苑ビル101号室	鎌田 眞紀	R3,4,1
訪問看護ステーションポラリス	盛岡市大新町20番54号	吉田 久子	R3,5,1
訪問看護ステーションサキアイ	盛岡市本町通3丁目3番21号	熊谷 順子	R3, 5,19
アップル訪問看護ステーション	盛岡市仙北2丁目12番40号	盛内 久美子	R3,5,1
escort 訪問看護ステーション	盛岡市みたけ2丁目10番70号	長根 雅	R3,9,1
訪問看護ステーションみなみちゃんち渋民	盛岡市渋民字渋民77番2	留場 ヤス子	R3,7,1
盛岡南病院訪問看護ステーション	盛岡市菜園1丁目6番13号	佐藤 みゆき	R4,1,1
メディコート訪問看護事業所	盛岡市上堂3丁目16番32号2階	佐藤 のり子	R3,12,1
訪問看護ステーションヴェンティ	盛岡市青山4丁目27番4号青山テナントビルB号	一ノ関 光也	R4,7,7
訪問看護 ブランチ	盛岡市仙北2丁目1-20	中村 直子	R4,8,15
ツクイ訪問看護ステーション	盛岡市中央通2丁目2番5号甲南アセット盛岡ビル205号	吉田 真子	R4,10,1
訪問看護ステーションベル	盛岡市本宮1丁目15番8号盛岸ビル91 201号	長根 雅	R4,12,1
訪問看護ステーション琥珀	滝沢市穴口294番地2	見世 剛信	R4,7,1
われもこう訪問看護ステーション	九戸郡野田村大字野田第28地割18番地4	中野 真之介	R3,10,1
SOMPO ケア 北上訪問看護	北上市さくら通り4丁目14-17	小原 光希	R4,1,1
独立行政法人国立病院機構花巻病院 訪問看護ステーション とともに	花巻市諏訪500番地	須藤 晶子	R3,6,1
訪問看護ステーション中根子	花巻市中根子字捨田屋5番地1	藤田 淳一	R3,9,1
宮古・山田訪問看護ステーションゆずる	宮古市実田1丁目3番37号	伊藤 文衣	R3,4,1

※順不同

「訪問看護は在宅医療の要ではなく、在宅介護の要でもない。人の生活を支援する要です」



小さい頃飼ったうさぎはぴょん吉、元気で活発、飛び跳ねていました。そのことから卯年は飛躍や向上と言われております。2023年はいろいろな事に挑戦し、飛躍していきたいと思っております。時間だけはゆっくり経過して欲しいものです。

第55集 協議会だより 1月号

一般社団法人
 発行所: 岩手県訪問看護ステーション協議会
 訪問看護ステーションはなえみ内

T028-0834 盛岡市永井23地割22番地1
 TEL:019-613-7011 FAX:019-613-7018
 E-mail: iwate_kango_st0425@outlook.jp

発行人(広報): 上澤 真樹(訪問看護ステーションらら)